

大空 —放哉だより—

第156号 2024.8.5

発行:小豆島尾崎放哉記念館 〒761-4106 土庄町本町甲1082 ☎62-0037



『当時の南郷庵』

小豆島尾崎放哉記念館開館30周年

放哉は師匠であり友人である荻原井泉水をはじめ、友人知人たち、西光寺住職杉本玄々子や井上一二らの援助を受け、小豆島で最期を迎えることができました。記念館も、全国各地・海外の放哉ファンの皆様や俳句・文学等に



『小豆島尾崎放哉記念館』

興味のある方々、また、「放哉」南郷庵友の会様、地域の皆様等のご協力により、30周年を迎えることができました。心より御礼申し上げます。これからも放哉の魅力をより多くの方々にお伝えできるよう尽力して参りますので、何卒よろしくお願いいたします。

※現在、ご来館の皆様には記念品をお配りしています。ぜひお越しください。

尾崎放哉入庵記念行事 俳句風鈴展

自由律俳人・尾崎放哉は大正14年(1925年)8月20日、西光寺奥の院「南郷庵」に入庵しました。

その日を記念し、風鈴を記念館敷地内に飾ります。風鈴には放哉が小豆島で作った句の中から、『層雲』に掲載された216句を付けています。風鈴1個につき、短冊には2句または3句書いています。

俳句を鑑賞しながら風鈴の音色をお楽しみください。

【期 間】 令和6年8月6日(火)～9月8日(日)

【時 間】 終日 ※天候により、変更する場合があります。

【場 所】 小豆島尾崎放哉記念館敷地内

【問合せ】 小豆島尾崎放哉記念館 62-0037(水曜日休館)



約8ヶ月という短い期間を小豆島で過ごし、約2,700句を作りました。入れものが無い両手で受ける、咳をしても一人、はよく知られていますが、この他にも素晴らしい句は数多くあります。この機会に是非ご覧ください。

8月



日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

●放哉だより発行日

□記念館休館日 □資料館休館日

8月20日の入庵日は入館料無料です。

山頭火ふるさと館【企画展 山頭火と『層雲』の仲間たち～自由律俳句雑誌から広がる交流～】

山口県にある山頭火ふるさと館で企画展が開催中です。

山頭火が交流をもった全国の『層雲』の仲間たちを、それぞれの作品やエピソードとともに紹介されているそうです。

放哉もその仲間のひとりです。関連イベントも開催されますので、興味のある方は山頭火ふるさと館へお問い合わせください。

【会期】前期:7月26日(金)～9月29日(日)

後期:10月4日(金)～12月8日(日)※放哉は後期